



# 国土交通省 中部運輸局

## 平成28年度 地域公共交通シンポジウムin中部を開催しました

平成28年11月2日、ウィルあいちにおいて、～「枠」を超えてつなげる、これからのネットワークのあり方～をテーマに、200名を超える参加を得てシンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウムではコンパクト・プラス・ネットワークの考え方に基づき改正された地域公共交通活性化再生法を踏まえた交通まちづくりが推進されるなかで、

- ・市町村境をまたぐ広域的な移動ニーズへの対応
- ・広大な中山間地でのネットワークの維持

といった課題に焦点をあて、従来の枠を超えた新たな試みを実施している事例を紹介しつつ、最適な交通を目指す様々な工夫のあり方について、共に考え、関係者間の問題意識の醸成、地域における取組の促進を狙い開催したものです。

【基調講演】「暮らしを支える公共交通網をつくりだすために」  
～固定観念を打破し、鉄道・バス・タクシーの枠を超え地域をしなやかにつなげよう～  
名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 准教授 加藤 博和 氏



【講演①】  
「貨客混載による地域交通の維持について」  
岩手県北自動車株式会社 乗合事業部  
副部長 荒屋敷 正剛 氏



【講演②】  
「地域交通網形成計画の策定における留意点」  
国土交通省総合政策局公共交通政策部  
交通計画課 手嶋 一了 氏



【講演③】

「広域的な地域公共交通網形成計画の策定について」  
奈良県 県土マネジメント部地域交通課  
課長補佐 中川 智巨 氏



【講演④】

「広域的な地域公共交通網形成計画の策定について」  
鳥取県 地域振興部  
部長 岡崎 隆司 氏



講演終了後には、自治体・交通事業者の担当者向けに、地域公共交通に関する「個別相談会」を開催しました。日頃のお悩みに、運輸局・支局の担当者が個別ブースでお答えするという取り組みで、多くの方々にご来場いただきました。



シンポジウム概要は、[こちら](#) から